



ポートモレスビー下水道整備事業

Port Moresby Sewerage System Upgrading Project
(パプアニューギニア)

大日本土木株式会社

事業実施場所



南に約5000km



ポートモレスビー

事業実施前



沿岸部の下水は処理されずに海に放流されていた

事業計画



- ✓ ポートモレスビー市の沿岸人口部過密地域の下水を処理
- ✓ 海洋環境及び住民衛生環境を改善



下水処理施設(活性汚泥処理・オキシデーショディッチ法)



施設の敷地面積は大きいですが、運営コストが抑えられる

反応タンク(酸素を与えて汚泥を活性化させ下水を処理します)



汚泥処理棟内脱水装置



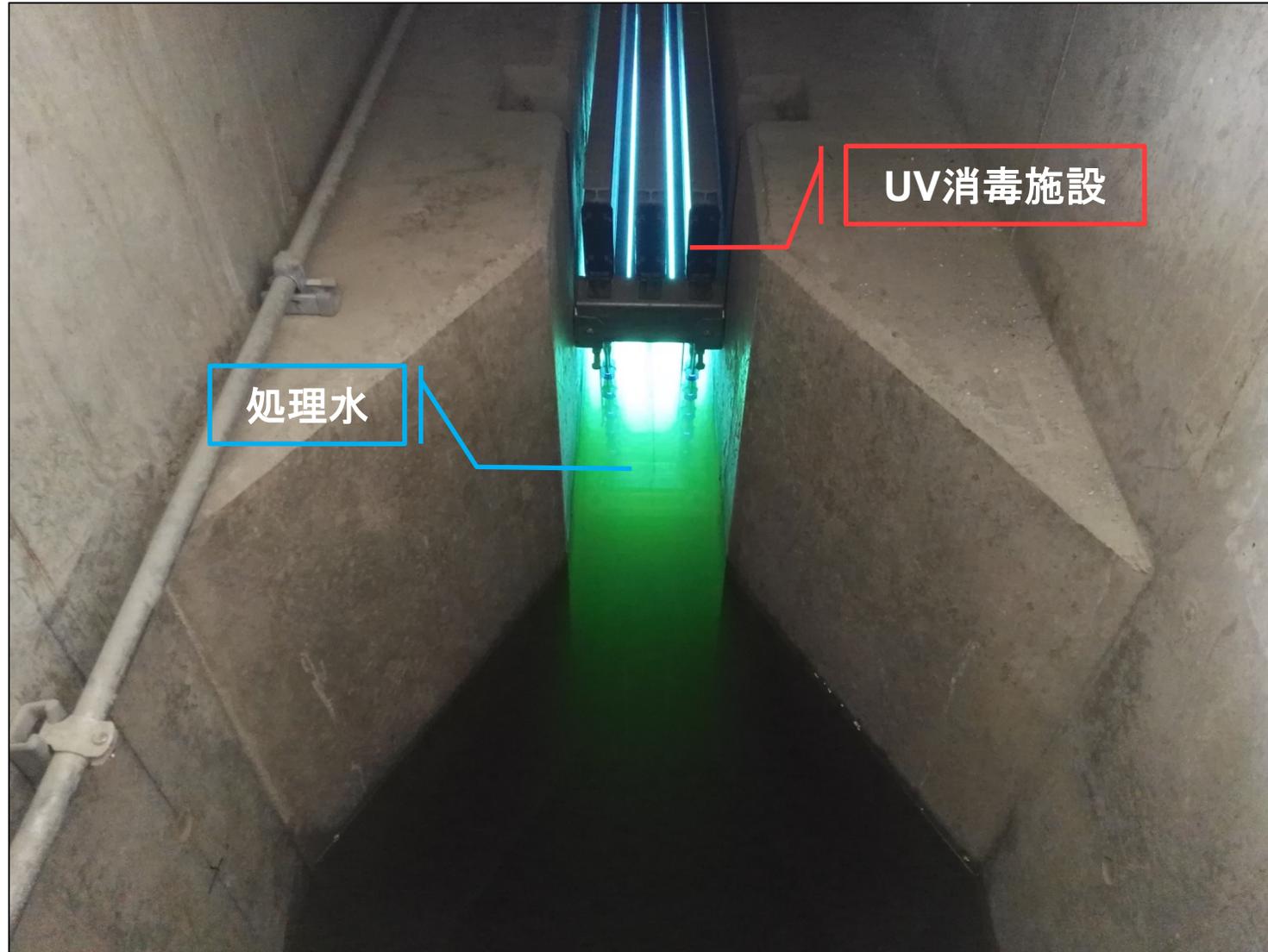
余剰汚泥を脱水して搬出しやすくします。

汚泥処理棟内脱臭装置



下水から出る臭いを消します

UV消毒施設(大腸菌などの細菌を紫外線のパ力で取り除きます)



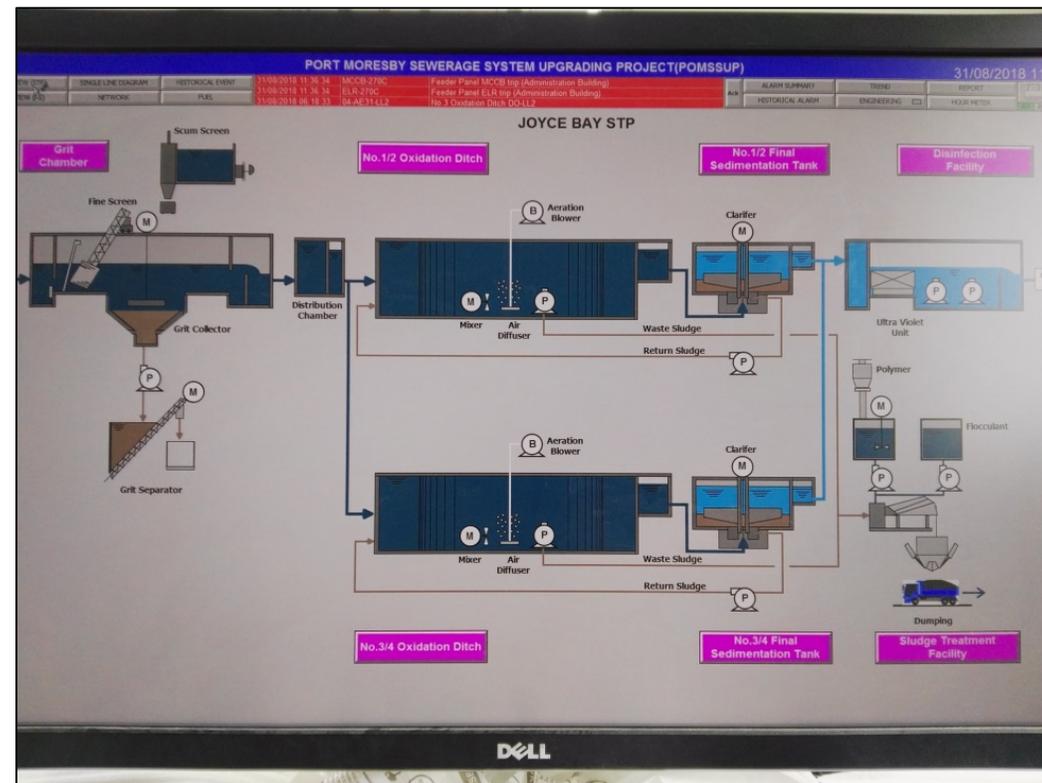
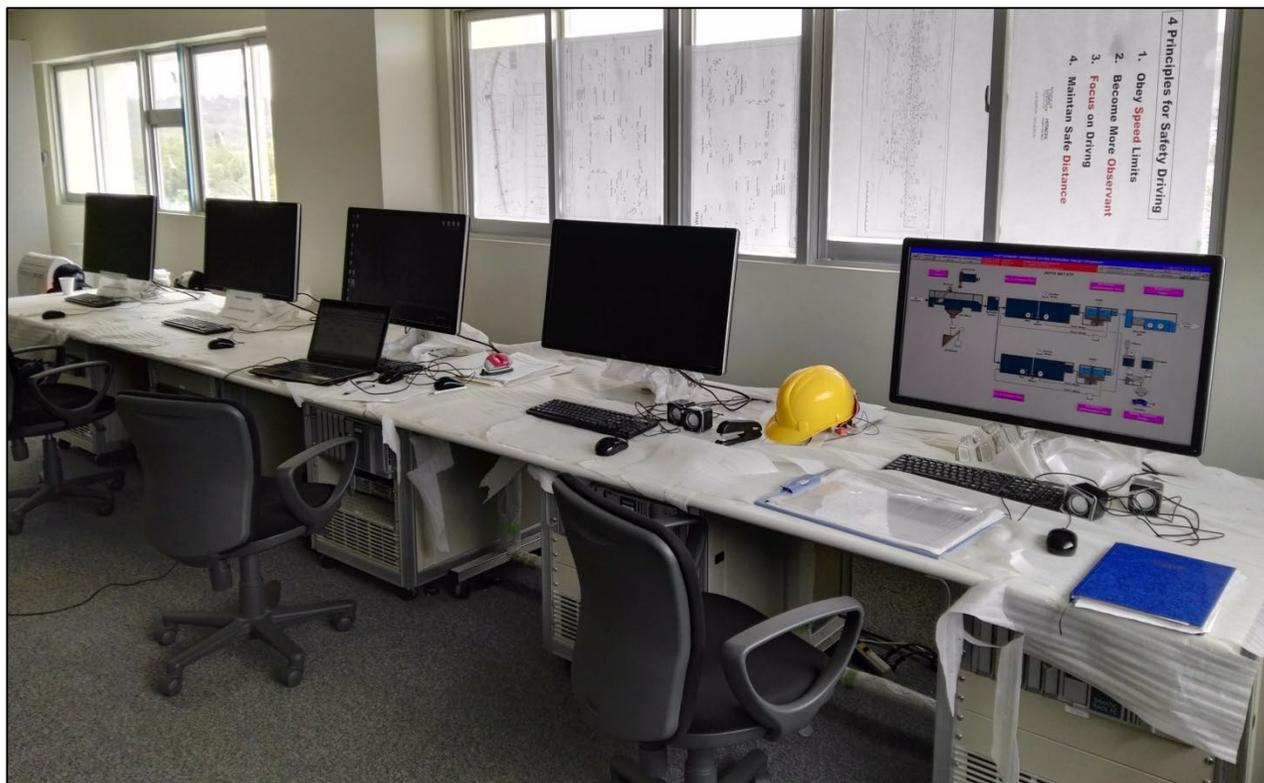
海中放流管（処理水を沖合900m水深23mで海中に放流します）



中継ポンプ場(下水を処理場まで圧力をかけて送ります)



SCADA監理システム(処理場、ポンプ場の稼働状況を監視します)



※SCADA(スキャダ): Supervisory Control And Data Acquisition

→産業制御システムの一つであり、コンピュータによるシステム監視とプロセス制御を行う。

施工状況(下水処理施設)



施工状況(下水処理施設プラント)



人材育成/技術移転・社会貢献



メンテナンス指導状況

人材育成/技術移転・社会貢献



現場見学

人材育成/技術移転・社会貢献



インターン受入